



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.32

令和6年9月27日

文責：校長 伊藤 孝行

ブラッドリー先生と楽しい英語の授業。

2学期もブラッドリー先生と楽しく英語の授業を学んでいます。ブラッドリー先生は、子どもたちに分かりやすく楽しい授業を進めてくれます。



ブラッドリー先生は、1・2年生の教室では大きな体を小さくして、子どもの目の高さで話します。



3・4年生になるとアルファベットを書く学習も入ってきますが、子どもたちは楽しく学ぶことができています。

中田町の小・中学校の今後を考える会が開催

9月25日(水)19時より中田ふれあいセンターで「中田町の小・中学校の現状と今後の在り方を考える会」が開催されました。

会の中では、教育委員会より担当者が来て郡山市の統合に関する方針について説明がありました。その一部についてお知らせします。

1. 学校統合に関する郡山市の基本方針

学校は地域の中心となるものと考え、統合等については、地元住民や保護者から統合の要望があつてから検討・協議に入るもので、郡山市から統合を促すものではない。

2. 学校統合の検討開始時期

- ① 小学校で2年連続して新入生0名の場合
- ② 中学校で新入生が0名の場合

- ③ 小学校で完全複式学級が続いている場合
- ④ 中学校で複式学級が発生する場合
- ⑤ 小規模校・過少規模校で、地元住民や保護者から統合の要望がある場合

説明の後質疑が行われ、既に統合が済んでいる湖南町、西田町、田村町の例や、現在、進められている逢瀬町の事例などの説明がありました。

次回の話し合いは、10月末に開催される予定になっています。

子どもたちのために研修を頑張っています。

毎年新しく学習することが増えているので、先生方も研修をしなければなりません。

今回は教育委員会の先生を講師にお招きして、タブレットの研修をしました。



一人一台となったタブレットを子どもたちが効果的に使えるよう先生方も頑張っています。

文化庁発表「国語世論調査」の結果から①

文化庁が発表した「国語に関する世論調査」では、スマホの利用時間が増えたことで読書の時間が減っているという現状が明らかになりました。

* 調査対象者 全国の16歳以上3,559人

* 1か月に読む本の冊数

年	2013	2018	2023
0冊	47.5%	47.3%	62.6%
1~2冊	34.5%	37.6%	27.6%

上の調査には小中学生は含まれていませんが、令和5年は、ついに1か月に読む1冊も本を読まない16歳以上の人が60%を超えてしまうという残念な結果となりました。

「本は心の栄養剤」とも言われます。秋を迎えたこの時期、心静かに読書をして心を豊かにするのも良いことだと思います。